

令和7年9月決算審査特別委員会

令和7年9月8日（月曜日）

◎ 出欠席委員氏名

林 智 委員長 鈴木 英 友 副委員長

出席委員（13名）

1番 漆山光春 委員	2番 東海林信弘 委員	3番 林 智 委員
4番 増川憲一 委員	5番 安孫子真弥 委員	6番 木村章一 委員
7番 奥山英幸 委員	8番 安達智勇 委員	9番 佐藤修二 委員
10番 鈴木英友 委員	11番 石垣光洋 委員	12番 細矢誓子 委員
13番 吉田芳美 委員		

欠席委員（0名）

◎ 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

真木秀章 事務局 長	田川美和子 専 門 員
岡崎美穂 議事係 長	

◎ 説明のため議場に出席した者の職氏名

森谷俊雄 町 長	河内耕治 副 町 長
板坂憲助 教 育 長	清野一晴 監 査 委 員
日塔俊浩 防災・危機管理監兼 総務課 長	大泉正博 防災危機管理課長
牧野隆博 政策推進監兼 企画財政課 長	日下部敦子 暮らし応援課長
今田史明 生活環境企画主幹	軽部昭博 税務町民課長
矢作 勲 健康福祉課長	池田恵子 こどもみらい課長
佐藤晃一 農林振興課長併 農業委員会事務局長	軽部広文 商工観光課長
奥山明子 雛とべに花の里推進主幹	土方一郎 都市整備課長
松田浩一 上下水道課長	鈴木淳子 会計管理者兼 会計課 長
宇野 勝 学校教育課長	秋場弘昭 生涯学習課長

佐藤 晃一 総務課長補佐兼
働き方改革推進係長

丹野 晋尚 企画財政課長補佐兼
財政係長

◎ 委員会日程

令和7年9月8日（月） 本会議休会後

委員会日程第1号

- 1 臨時委員長の紹介
- 2 臨時委員長のあいさつ
- 3 決算審査特別委員会開会、開議

日程第1 委員長の互選

日程第2 会議録署名委員の指名

日程第3 副委員長の互選

日程第4 付託案件の審査、採決

議第43号 令和6年度河北町一般会計歳入歳出決算認定について

延 会

◎ 本日の会議に付した事件

委員会日程第1号のとおり

◎ 開 議

午後1時46分

○**真木事務局長** ただいま決算審査特別委員会が設置されましたが、委員長がまだ定まっておりません。したがって、河北町議会委員会条例第8条第2項の規定により、委員長が選出されるまでの間、12番細矢誓子委員が臨時に委員長の職務を行うこととなります。

12番細矢誓子委員をご紹介します。12番細矢誓子委員、よろしくお願いいたします。

○**細矢臨時委員長** 委員長が選出されるまでの間、私が臨時委員長の職務を行いますので、よろしくご協力をお願いいたします。

本日の欠席通告委員はありません。

ただいまの出席委員数は13名であります。定足数に達しておりますので、これから決算審査特別委員会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の委員会日程は、お手元に配付のとおりであります。

○**細矢臨時委員長** 日程第1、委員長の互選を行います。

お諮りします。互選の方法は、申合せにより指名推選によることとし、臨時委員長において指名することとしたいと思います。これに異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、委員長の互選につきましては指名推選とし、臨時委員長から指名することといたします。

それでは、3番林智委員を指名します。

お諮りします。ただいま指名しました3番林智委員を委員長とすることに異議ありませ

んか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、3番林智委員は決算審査特別委員会委員長に当選されました。

当選されました3番林智委員が議場におられますので、本席から当人に告知いたします。

3番林智委員、委員長就任のご挨拶をお願いいたします。

○林委員長 一言ご挨拶申し上げます。

ただいま皆様方のご推挙によりまして、決算審査特別委員長という大役を仰せつかりました。誠に光栄とは存じますが、責任の重大さを改めて感じているところであります。

決算審査に当たっては、町民の立場に立ってチェック機能を十分に生かし、委員皆様の質疑が活発になるよう、また、スムーズな委員会審議となるよう心がけたいと思います。

何とぞ委員各位のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

これで就任の挨拶とさせていただきます。

○細矢臨時委員長 以上で決算審査特別委員会委員長の互選を終わります。

これで私の臨時委員長の職務が終わりましたので、委員長と交代いたします。ご協力、誠にありがとうございました。

委員長と交代の間、このまま休憩といたします。

休 憩 午後1時51分

再 開 午後1時54分

○林委員長 休憩を解いて再開します。

本委員会開催の間、庄司総務課長補佐兼働き方改革推進係長、丹野企画財政課長補佐兼財政係長の出席を認めておりますので、ご了承ください。

○林委員長 日程第2、会議録署名委員の指名を行います。

お諮りします。本委員会に会議録署名委員

を指名することになっております。委員長から指名したいと思います。これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、本委員会に会議録署名委員を置き、委員長より指名します。

7番 奥 山 英 幸 委員

6番 木 村 章 一 委員

の両名を指名します。

○林委員長 日程第3、副委員長の互選を行います。

お諮りします。副委員長の互選については指名推選とし、委員長から指名したいと思います。これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、副委員長の互選につきましては指名推選とし、委員長から指名することにします。

それでは、10番鈴木英友委員を指名します。

お諮りします。ただいま指名しました10番鈴木英友委員を副委員長とすることに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、副委員長には10番鈴木英友委員が当選されました。

当選されました10番鈴木英友委員が議場におられますので、本席から当人に告知します。よろしく申し上げます。

お諮りします。本委員会の議事運営につきましては、議会運営申合せ事項により、質疑の回数は制限を問わず、質疑は一括して行い、質疑の時間は40分とします。また、その他の議事運営は、委員会条例及び会議規則、本会議運営に準じて行いたいと思いますが、これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認め、そのように執り行いますので、よろしくをお願いします。

○林委員長 日程第4、付託案件の審査、採決を行います。

本委員会に付託された案件は、

議第43号 令和6年度河北町一般会計歳入歳出決算認定について

議第44号 令和6年度河北町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

議第45号 令和6年度河北町西里財産区特別会計歳入歳出決算認定について

議第46号 令和6年度河北町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

議第47号 令和6年度河北町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

議第48号 令和6年度河北町水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について

議第49号 令和6年度河北町下水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について

の7議案であります。

委員長から申し上げます。

決算審査特別委員会でありますので、一般質問に類するような発言は避けてくださるようお願いします。

順次、審査を進めます。

○林委員長 議第43号令和6年度河北町一般会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

質疑の順序であります。最初に歳出の1款議会費から4款衛生費まで、次に5款労働費から8款土木費まで、次に9款消防費から14款予備費まで、次に歳入全款及び実質収支に関する調書、最後に財産に関する調書と区

別して行います。

なお、質疑の際は、最初にページ数、款、項、目、節を示し、さらに質疑の内容を簡潔明瞭に述べてください。また、答弁する当局側は、質疑内容に対し漏れなく、かつ簡潔に答弁してくださるようご協力をお願いします。

それでは、1款から4款までの質疑の通告を求めます。

(5番、6番、7番、8番、10番、11番、13番の通告あり)

確認します。5番安孫子真弥委員、6番木村章一委員、7番奥山英幸委員、8番安達智勇委員、10番鈴木英友委員、11番石垣光洋委員、13番吉田芳美委員、落ちありませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、1款から4款までの質疑に入ります。

初めに、「5番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 では、私のほうから質疑させていただきます。

初めに、決算書52、53ページ、2款1項2目職員研修費についてお伺いします。

今年度から自主研修がスタートしているかと思いますが、その中で、「能登半島地震の教訓をこの先へ」という研修と、あとは「地域に残る祭りの持続可能な運営と継承体制の再構築」という研修をされているかと思いますが、こちらの研修をしてみたの、どんな学びがあったのかをお伺いできればと思います。

続きまして、52、53ページ、2款1項3目会計管理費の中の庁用器具費についてであります。税公金ステーションを導入されたかと思いますが、導入してみたの効果についてお伺いします。

続きまして、52、53ページ、2款1項4目企画財政費についてお伺いします。デジタルトランスフォーメーションに向けた取組を行ったかと思うんですけれども、令和6年度は

どの程度の進捗があったと考えるかお伺いします。

また、あわせて、生成AIツールの試行をされたかと思うんですけども、どんな業務に試行しまして、またその有効性の検証の結果はどうだったのかをお伺いします。

続きまして、64、65ページ、2款3項1目戸籍住民基本台帳費の中の庁用器具費についてお伺いします。

キャッシュレス決済対応窓口用レジスターを購入されたかと思うんですけども、こちらについても導入してみても効果をお伺いします。

また、78、79ページ、3款2項1目児童福祉総務費の中で、婚活支援事業委託料についてお伺いします。

先日の決算調査の中で、第1回目のイベントでは16名中、町内からの参加者が0名、また第2回では15名中、町内からの参加者が3名とお伺いしているんですけども、この町内からの参加者が少ない理由と、また今後の事業の継続についてどのように考えているのかお伺いします。

以上です。

○林委員長 「日塔防災・危機管理監兼総務課長」

○日塔防災・危機管理監兼総務課長 職員研修費の自主研修についてのお問合せということでお答えしたいと思います。

自主研修につきましては、昨年度、令和6年度は3件実施しているところでございます。

この自主研修につきましては、あらかじめ設定したテーマというものを経済のほうからお出しさせていただきまして、研修をしていただくという形、スタイルでやらせていただいたところでございます。

昨年度につきましては、3つの自主研修が行われたところでございます。

1つが「能登半島地震の教訓をこの先へ」

というものでございます。こちら、人数については2人ということで、こちら、実際、現場のほうに、現地のほうに出向いての研修というのではなくて、オンライン研修ということでございます。研修の内容としましては、実際、災害が起きた場合、どのような対応をしているかということでの、河北町でも当然、地震ということの可能性というのは、山形盆地断層帯とかございますので、その対応ということでの研修となったところでございます。研修内容としては、能登半島の地震、熊本地震とか、復興への取組ということで、大きなものでございますけれども、自然に対してちょっと逆らうことができませんので、それを受けてどのような取組をしていったかということでの内容でございます。

続きまして、2つ目が「小中一貫型小学校・中学校の特色、住民理解に向けたプロセス」という研修でございます。こちら、職員4名で参加させていただいて、東京のほうに出向いての研修ということでございます。中身的には小中一貫型の小学校・中学校の整備の先進地視察ということでの情報収集ということでございます。町のほうでも、今後、小中一貫校ということで、頭にありますので、その研修ということでの中身になっております。

3つ目が「地域に残る祭りの持続可能な運営と継承体制の再構築」というものでございます。こちら職員3名での参加、研修先につきましては東京というところでございます。全国の祭りの課題解決ということでございまして、その事業展開、河北町にはどんがまつりとか、各地区にお祭りございますけれども、その継承と、あといろんな展開ということでの研修を行ってきたということでございます。

○林委員長 「鈴木会計管理者兼会計課長」

○鈴木会計管理者兼会計課長 決算書52、53ペー

ジ、2款1項3目会計管理費の中の庁用器具費、税公金ステーションを導入しての効果についてお答えいたします。

導入の効果につきましては、大きく分けて2つ挙げられるかと思えます。

1つが、町民の方に対しての利便性の向上、2つが職員の負担軽減、この2つが挙げられるかと思えます。

1つ目、町民の利便性向上につきましては、納付時の待ち時間の短縮、窓口での待ち時間の短縮ということで、特に納付書発送直後、納期限近くの繁忙期につきましては、窓口においての待ち時間が短縮していると思われる。また、窓口納付につきましては、受付票の記載等がありますけれども、公金ステーションの場合はその記載が不要となります。また、町民の方にとって、納付方法の選択肢が増えたということで、この3つが利便性向上というふうに挙げられるかと思えます。

2つ目、職員の負担軽減につきましては、職員の窓口業務の負担軽減ということで、12月に税の公金ステーションを導入しましたが、12月から3月までの間で、公金ステーションの利用件数につきましては、延べ460件あったところでございます。その間、窓口の件数につきましては、令和5年度1,427件あったのに対しまして、令和6年度は1,045件と、382件の減少につながっております。また、今年度であります、4月から8月ですけれども、令和6年度2,462件、窓口納付がありましたけれども、今年度は1,662件と、800件の減少と大きな減少につながっているところでございます。

また、町民の方に、12月から3月にかけてアンケートのほうも、簡単なものですがけれども実施いたしました。328名の方からご協力いただきました。処理時間、操作方法、今後も利用したいかについての3項目ですけれども、

お答えいただいております。その結果、処理時間について、「早い」と答えられた方が62%ほど、「操作方法が簡単である」と答えられた方が54%で、今後も利用したいかということに対して、「はい」と答えられた方が232名の70%ほどということで、利用された方にとっては、おおむね好評であったと捉えているところでございますので、税の交付金ステーションの導入の効果については、大きくあったというふうに認識しているところでございます。

○林委員長 「牧野政策推進監兼企画財政課長」

○牧野政策推進監兼企画財政課長 決算書52、53ページ、2款1項4目企画財政費に関係して、DXの取組、どんなものがあつたかということではありますが、令和6年度のDXの取組としましては、まず、1つ目としまして、DX推進アドバイザーのほうを町のほうで委嘱しております。専門的な見地のほうからいろんなDX推進についてのご助言なんかをまずはいただいているところであります。

2つ目としまして、国の地域経済分析システムRESAS（リーサス）というものがございまして、それを使うための研修会を開催したところであります。東北経済産業局のほうからご協力をいただいて実施しております。

3つ目としまして生成AIツールの試行ということで、業務の効率化にどの程度使えるかということで、6年度はまずは試行ということで導入して使ってみたところであります。

4つ目としまして、デジタル田園都市国家構想交付金を活用しまして、4つの事業に取り組んでおります。

1つが、河北町の公式LINEの活用ということで、メニューの設定とかセグメント配信などの機能拡張を行ったところであります。

2つ目が、証明書のコンビニ交付ということで、コンビニのほうでマイナンバーカード

を活用して住民票の写し、印鑑証明書を取得できるようにしたところでもあります。

3つ目が、公金収納サービス向上ということで、今、会計管理者のほうからも説明ありましたが、収納できる機械とか窓口、税務町民課のほうの窓口のキャッシュレス対応なんかの導入をしたところでもあります。

4つ目が、GIGAスクールの構想に向けたデジタル化推進ということで、電子黒板21台の導入とか、連絡網のアプリとか、谷地高での学習支援のアプリなんかをそれぞれ導入したところでもあります。

大きく、あとやったのが、戸籍証明書のオンライン申請ということで、オンライン申請いろんなもの取り組んでおりますけれども、スモールスタートとしまして、戸籍の謄抄本、戸籍の附票の写しなんかとか、あと、相続とかでよく出生から死亡までの戸籍が必要になりますけれども、そういったものがオンラインで請求できるような取組を行っているところでもあります。

今年度に、あとは続いております自治体システムの標準化、今年度メインで進めておりますけれども、令和6年度からもう移行のための調査なんかもやっていたところでもあります。

生成AIツールのところは、特にちょっと質問ありましたので、どういった業務に使っているかということでありますけれども、資料の作成、取りまとめであったりとか、議事録の要約であったりだとか、いろんなアイデア出しなんかに、業務として使ってもらったようであります。試験導入も好評でありましたので、今年度6月から本格導入をしているところでもあります。

以上です。

○林委員長 「軽部税務町民課長」

○軽部税務町民課長 決算書64ページ、65ページ、

2款3項1目戸籍住民基本台帳費の中の庁用器具費ですけれども、キャッシュレス決済対応レジスターの購入の効果についてということでもありますけれども、住民の方の利便性向上と、あと職員の負担軽減ということで、会計管理者からありましたような、同じような内容で導入させていただきました。

その結果ですけれども、昨年の12月から今年の8月まで、今、傾向を探っているところでもありますけれども、大概是現金給付が多いんですけれども、中にはクレジット、電子マネー、QRコードというふうに使えるようになっていきますので、徐々に利用が増えているという認識であります。今現在の累計で見ますと、現金が95%ぐらいで全体を占めていると。それ以外でクレジットで1.3%、電子マネーで0.8%、QRで2.8%というような内容になっていきますので、今後は多分もっと増えていくだろうというふうに予想を立てているところでもあります。

以上です。

○林委員長 「池田こどもみらい課長」

○池田こどもみらい課長 決算書の78ページ、79ページ、3款2項1目児童福祉総務費の中の婚活支援事業委託料についてであります。

町内からの参加者が少ない理由ということではありますが、こちらのほうは、町内での婚活イベントということは、あまり近くて町内の人は敬遠しがちな傾向があるのではないかとこのように思っているところです。

町内の方ですが、他市町村で開催されるイベントのほうには参加しているようであります。

今後の事業の継続ということではありますが、令和7年度も2回予定しております。令和5年度の婚活イベントのほうでマッチングされた方、河北町の方になりますが、こちらの方、令和6年度にご成婚されたという報告もあり

ますので、結婚を望む方へは、結婚相談所での相談や婚活イベントなどを行い、希望がかなうように支援をしていきたいと思っ
ているところ
です。

以上です。

○林委員長 「5番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 再質疑します。

52、53ページの職員研修費について、内容を教えていただいたところだったんですけれども、これらの内容を河北町に生かすとした場合、どのようにしたら生かせるのかと考えているのかをお聞きします。

また、続きまして、52、53ページの会計管理費について再度お伺いします。

こちらの公金ステーションの利用率と、または機械への適応状況についてお伺いします。恐らく高齢の方はなかなか大変苦勞をされるのかなと思うんですけれども、そのあたりのサポート状況などもお聞かせください。

続きまして、52、53ページの企画財政費についてお伺いします。

先ほどご紹介いただいたんですけれども、今後DXへの取組方についてどのように力を入れていこうと考えているのかをお聞きします。

また、生成AIツールについて本格導入するということだったんですけれども、今後の利用方針などあればお伺いします。

続きまして、64、65ページの戸籍住民基本台帳費についてお伺いします。

利便性と職員の負担軽減につながっているということだったんですけれども、317万9,000円と、そこそこ費用がかかっているかと思うんですけれども、費用対効果についてどのような評価をしているのかをお伺いします。

また、78、79ページの婚活支援事業費事業委託料についてお伺いします。

こちら125万3,000円と費用がかかってい

るんですけれども、こちらの費用対効果をどのように考えているのかお伺いします。

以上です。

○林委員長 「日塔防災・危機管理監兼総務課長」

○日塔防災・危機管理監兼総務課長 自主研修の内容について、どのように町として生かしていくのかというご質問でございます。

まず、自主研修というものでございますけれども、決められたメニューに参加するというものではございませんで、自主的に、どのようないろいろチームを組みまして、テーマを決めて、そこに参加するという内容になっているものでございます。

実際、研修先に行つての研修でございますけれども、自分たちが当然テーマを持って研修に行くわけでございますが、お話を聞く中で、町に合うもの、極端な話をさせていただければ、これは取り入れるもの、取り入れるべきもの、そうではないかなんていうふうな、いろいろな考えを持って研修をしていくということでございます。自由な発想を持って研修に当たっていただいているという研修になりますので、それをもって、今後、ちょっとすぐさまその対応ができるようなものでも、その研修に行つた方々で、その後もちょっと話なんかしてもらいながら、今後どうしていったらいいかなんていうことで、思いをはせていただくというのも研修の中の一つかなというふうに思っております。

繰り返しになりますけれども、町ですぐ施策に取り組む、取り組めるとか、取り組むべきとかというちょっと研修ではなくて、今後に向けた職員のスキルアップ、モチベーションアップといったところでの研修とさせていただいているところでございます。

○林委員長 「鈴木会計管理者兼会計課長」

○鈴木会計管理者兼会計課長 2款1項3目会計管理費の庁用器具費、税の公金ステーション

についての、利用率等についてのご質問にお答えさせていただきます。

利用率につきましては、今年度4月から8月の状況について申し上げさせていただきます。

利用率ですけれども、窓口の件数が1,662件、公金ステーションの利用件数が986件となっております。大体37%ほどの利用率となっております。

委員おっしゃるとおり、ご高齢の方はどうしても機械の操作とか慣れないという方も多く見受けられますが、令和6年度におきましては、会計年度任用職員の方に、公金ステーションへの誘導や操作の説明のほうをさせていただいたところです。

今年度は、職員のほうが操作等、分からないといったような場合には、職員が赴きまして対応させていただいているといったような状況となっております。

○林委員長 「牧野政策推進監兼企画財政課長」

○牧野政策推進監兼企画財政課長 初めに、生成AIの利用方針でありますけれども、利用の仕方はいろいろあるかと思うので、いろんなものに使ってもらって構わないかとは思いますが、利用するデータの入力の方とか、そういったところが一応、こういうものは駄目ですよとかという利用指針を町のほうでつくって、それをもって運用してもらっています。特に個人情報とかそういった情報を入れてしまうと、データが蓄積なるというおそれがありますから、そういったもののデータの取扱いについては十分注意して使うようになっております。基本的には使わないという方針の指針を一応つくって、そういったものをつかって運用してもらっているものであります。ただ、いろんなものに使ってもらっていいのかなというふうには思っています。

今後のDX、こういったことをということ

でありますけれども、決算審査なのでここで答えるべきなのかどうかもありますが、いろんなことを全国の自治体で取り組んでいる情報が、毎月のようにいろんな資料が来ます。そういったものの中から、もしいいようなものがあれば、町でも当然取り組みたいというふうには思いますけれども、基本的に、町民の利便性が上がって、なおかつ職員の負担が減るようなものがないというふうには思っていますので、そういったものでいいものがあれば、国の交付金なんかを活用して積極的に導入はしていきたいなというふうには考えています。

○林委員長 「軽部税務町民課長」

○軽部税務町民課長 キャッシュレス決済対応レジスターの費用対効果ということだと思えますけれども、一概に費用対効果ということはなかなかはかれないのかなというふうに思っているところです。

先ほどもありましたように、住民の利便性の向上と、あと職員の負担の軽減というところで導入を決めておりますので、費用対効果についても、今後も計算してまいりますけれども、今のところはそういった考えであります。

以上です。

○林委員長 「池田こどもみらい課長」

○池田こどもみらい課長 78、79ページ、3款2項1目児童福祉総務費の中の婚活支援事業委託料125万3,000円の費用対効果ということでありますが、こちら成婚に結びついたという実績から、今後の参加者も期待される所でございます。

また、成婚に結びついたという実績もありますので、結婚して、妊娠、出産、そしてその後、河北町に住んでいただけるということを考えますと、費用以上の大きな効果になるのではないかと考えているところです。

以上です。

○林委員長 「5番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 再び再質疑させていただきます。

2款1項2目の職員研修費につきまして、私は大変評価するところであるんですけども、いかんせん人数が2名から4名しか参加されていないので、今後増えればいいなと思っているんですけども、今後の実施方針などあればお伺いします。

続きまして、2款1項3目の会計管理費につきまして、こちらも、私、評価するところなんですけれども、今まで導入しなかった理由と、今回導入したきっかけについてお伺いします。

また、2款3項1目の戸籍住民基本台帳費について、こちらも同様に、導入しなかった理由と今回導入したきっかけについてお伺いします。

以上です。

○林委員長 「日塔防災・危機管理監兼総務課長」

○日塔防災・危機管理監兼総務課長 自主研修の参加人数が少ないということのご質問でございますけれども、研修する人数でございますが、なかなかまとまった研修が、時間を取るのが難しいという中で、そのチームの中で何人いいですかということでのお伺いはしているところでございますが、人数的にはこのような少人数というものになりますけれども、この人数でなっていると。

人が多い、団体を組んでの研修というのも、当然、いい意味というか、メリットとかもあると思うんですけども、メリット、デメリットがあると思うんですけども、少人数は少人数のいいところ、フレキシブルにとか、回しやすいとかということで、この人数でまずやってもらっていると。

2桁とか10人での研修が駄目だとかということでの縛りを設けているわけではございませんので、その辺、自主研修に参加されるチ

ームの皆さんの総意をもって人数を決定しているということでございます。

あと、今後の実施の方針というものでございますけれども、この研修、いろんな研修ございますけれども、この研修については、できるだけ多くの方が研修に参加されるようにということで、継続して、まず実施していきたいというふうな考えを持っているところでございます。

以上でございます。

○林委員長 「鈴木会計管理者兼会計課長」

○鈴木会計管理者兼会計課長 公金ステーションを導入するに至った経緯についてお答えいたします。

税の公金ステーションにつきましては、大変便利なものであるということではありますが、500万円以上するというので、これまでは導入しなかったということでございます。

令和6年度におきまして、デジタル田園交付金、デジ田交付金のほう活用できるというふうなことから導入に至ったというふうな経緯でございます。

○林委員長 「軽部税務町民課長」

○軽部税務町民課長 キャッシュレス対応決済レジスターの購入ですけども、公金ステーションと併せて、デジタルトランスフォーメーションということで庁舎内で取り組んでおりますので、そのDXの一環として、デジ田交付金を利用して購入したということでありませぬ。

○林委員長 「5番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 終わります。

○林委員長 以上で5番安孫子真弥委員の質疑を終わります。

委員長から申し上げます。

ここで、14時40分まで休憩とします。

休 憩 午後2時31分

再 開 午後2時39分

○林委員長 休憩を解いて再開します。

次に、「6番木村章一委員」

○木村委員 最初に、50ページ、2款1項1目庁舎費の光熱水費についてお伺いいたします。

役場庁舎の電源につきましては、水力発電電力に切り替えたということで、これはゼロカーボンですから、非常に優れた取組だと思います。評価申し上げます。

それで、光熱水費を、そういうことでありますが、より庁舎そのものが、エネルギー効率のいい庁舎という、補助金を使っての庁舎でありますから、金額ではなくて、キロワットアワー換算、あるいはCO₂の重量換算といえますか、そういうふうと比較したときに、令和5年と令和6年でどんなふうになっているか、省エネ型庁舎としての性能をちゃんとチェックしたいと思いますので、その数字を示してください。

次に、52ページ、2款1項3目会計管理費でありますけれども、令和5年度は326万円ぐらいでしたが、令和6年度は1,200万余りということで、非常に大きくなっている。一つは、公金ステーションの導入経費など初期経費ありますけれども、そのほかに、山銀への手数料支払いが途中から半年間ということで、それだけで、半年間だけで174万円もの負担があるということで、これどういういきさつ、経過なのか。急に増えていることについて説明してください。

それから、54ページ、2款1項5目デジタル田園都市国家構想交付金、デジ田交付金なんですけれども、いろいろと事業、4つほどありますが、それぞれの事業費は幾らかということと、その中で交付金ということですが、どの部分、全額なのか、町負担はどのぐらいなのかについてお聞きしたい。

自治体によっては、このデジ田交付金を膨大に使っているところもあるようですが、河

北町はどの程度やろうとしているかお聞きしておきたいと思います。

それから、54ページ、2款1項5目広報広聴活動でありますけれども、地元誌の地域のページの明日の予定に、河北町の予定というのがなかなか出てこない。いつも私見ているんですが、ほかの自治体だけで、河北町もいろいろ事業とか行事あるんですけれども、前にもお聞きしたんですけれども、なかなか明日の予定に河北町出てこない。どんな努力をしたのかお聞きしておきたいと思います。

58ページ、2款1項9目空き家対策費の空き家バンクで、申請調査8件となっておりますが、その後、この8件がどんなふうになったかお聞きしておきたいと思います。

さらに、64ページ、2款1項3目マイナカード登録申請サポート事業ですが、マイナカードの普及率81.6%、現在はそうだと聞いていますが、マイナカードと保険証ひもづけの比率はどのぐらいか。また、これを解消するなんていうこと、動きもあるようですが、どのぐらいか。

このマイナカード申請サポートの費用は、その財源はどうなるのかについてお聞きしておきたい。

それから、82ページ、3款2項5目児童福祉施設費でありますけれども、認定こども園整備事業費の内訳をお聞きしたい。

さらに、それぞれの認定こども園の保育士の雇用状況、去年も聞きましたが、今年もお聞きしておきたいと思います。

以上お聞きします。

○林委員長 「日塔防災・危機管理監兼総務課長」

○日塔防災・危機管理監兼総務課長 決算書50ページ、51ページの庁舎費の光熱水費の令和5年と6年の比較ということでのご質問でお答えいたします。

庁舎の電力につきましては、令和5年4月

からやまがた水力プレミアムでの供給をしており、CO₂排出ゼロということになっております。

これに、ゼロということで地球環境保全へ継続して取り組んでいくということになります。

庁舎で令和6年度と5年度の光熱費の差としまして、議員の中でもお話しありましたけれども、金額というのは変動がございますので、電力使用量で比較させていただきますと、令和6年度の庁舎の電力使用量につきましては、年間でございますけれども、453トンワットアワーで、この電力で排出されるCO₂を換算式で二酸化炭素排出量を求めると、182トンCO₂パーキロワットアワーという単位になります。令和5年度の庁舎の電力使用量は年間441トンワットアワーでございます、この電力量で排出されるCO₂を換算式で二酸化炭素排出量を求めると、177トンCO₂パーキロワットアワーとなります。

今お示ししました二酸化炭素の排出量でございますけれども、庁舎供給電力が二酸化炭素を排出する電力を使用した場合ということでお示しさせていただいたものでございます。

繰り返しになりますけれども、令和5年からでございますけれども、二酸化炭素の排出量というのは、庁舎ではゼロというものでございます。

令和5年度と6年度の使用料を比較しますと、令和6年度が12トンワットアワーほど多く、二酸化炭素排出量につきましては、5トンCO₂パーキロワットアワー多くなっているところでございます。

その要因と捉えているところでございますけれども、昨年度につきましては、2回選挙がございました、期間的にも長い期間と、選挙。あと、昨年度からクーリングシェルターということで、それを実施させていただいて

いるところでございます。その要因が主なものというふうに捉えているところでございます。

なお、今後も光熱水費につきましては適正温度管理、冬の電源の消灯に努めて、使用電力の節減に努めていきたいというふうに思っているところでございます。

以上でございます。

○林委員長 「鈴木会計管理者兼会計課長」

○鈴木会計管理者兼会計課長 52、53ページ、2款1項3目会計管理費、手数料の中の公金支払いに係る手数料負担の経緯についてお答えいたします。

発端ですけれども、令和4年の3月に、総務省のほうから全国の自治体に対しまして、指定金融機関等に取り扱わせている公金収納事務等に要する経費の取扱い等についてというふうな通知がございました。その中で、公金収納事務等に係る経費等負担等を検証して、適正な経費負担となるような見直しを行うような要請があったところでございます。

また、それと併せて、令和6年の10月から、地方公共団体における給与の支給などを除いた公金の支出に係る銀行間での手数料負担ですけれども、これまで無料であったところが、令和6年10月から税別で1件当たり62円になるというふうな通知があったところでございます。

それを受けまして、令和5年8月に山形銀行のほうから、令和6年予算編成における振込手数料の予算措置のお願いということで、依頼の文書が来ております。

その中では、金融機関を取り巻く環境が厳しさを増しており、業務の見直し、改善を継続しているが、コスト削減には限界があること、手数料については、過去の慣例のまま無償または低額に据え置かれていたましたが、一般の方が負担している実際の既定料金とは、

大きく乖離しているというようなこと、そのようなことで、令和6年10月1日から手数料の負担をお願いするというふうな依頼があったところでもあります。

それを受けまして、令和6年度の当初予算において、その分の手数料のほうを計上させていただいたというふうな中身となっております。

以上です。

○林委員長 「牧野政策推進監兼企画財政課長」

○牧野政策推進監兼企画財政課長 決算書52、53ページ、2款1項4目の企画財政費に絡んで、デジ田交付金の内容でありますけれども、今ちょっと資料確認しておりますので、後ほどお答えさせていただきたいというふうに思います。

決算書54、55ページの広報費ですけれども、明日の予定のところになかなか河北町の予定が載ってこないということではありますが、こちらとしましては、各種メディアのほうに毎週のように情報は提供しております。ただ、それをどういうふうに取り上げてもらうかは、メディアなどによりますので、なぜ載らないかということについては、何とも分からないところではありますが、ちょっと機会があれば聞いてみたいかなというふうには思います。

○林委員長 「日下部くらし応援課長」

○日下部くらし応援課長 58、59ページ、2款1項9目空き家対策費の空き家バンクについてのお尋ねでございます。

令和6年度、空き家バンクの登録調査件数8件ということで、その内容についてということでございますが、空き家バンクにつきましては、既に登録されている物件につきましても、登録期間が3年というふうに決めていますので、その3年を経過して、さらに空き家バンクのほうに登録されたいという方、それから、新規に登録されたい方ということ

で、再度こちらのほうに登録していただくような形になっております。

令和6年度につきましては8件ということで、これまでにない登録件数となっております。この登録件数につきましては、令和6年度、新たに全国版の空き家バンクのアットホームへの物件登録なども始めたり、それから、空き家対策ガイドブックの発行なども行っておりましたので、そういったことから、登録件数8件ということで大幅に伸びたのかなと思っております。

○林委員長 「軽部税務町民課長」

○軽部税務町民課長 決算書64ページの2款1項3目のマイナンバーカードの件ですけれども、普及率が81.6%ということで、申請件数が1,486件に対して、今現在交付している件数が1,345件ということで、81.6%の、今、人口に対する保有率が81.6%ということになっております。

先ほど言われましたひもづけということだったんですけれども、国保とのひもづけということだと思いますけれども、65%の方がひもづけされておまして、最近の数字では75%というふうに捉えております。

あと、解除の申請ですけれども、20件というふうはこちらでは捉えております。

あと、最後の費用についてちょっと分からなかったのですが、すみませんが、もう一度お願いしたいと思います。

○林委員長 「池田こどもみらい課長」

○池田こどもみらい課長 決算書82ページ、83ページ、3款2項5目児童福祉施設費の中の認定こども園整備事業費補助金2,119万6,840円の内訳についてであります。

社会福祉法人敬愛信の会が1,060万1,424円、社会福祉法人平和春秋会が1,059万5,416円となっております。

保育士数についてであります。かほくあ

いこども園が、正職員が19名、臨時職員5名、パート2名の合計26名になります。

保育士の配置基準に沿った必要な保育士数としましては16名となっております。

ひなのこども園につきましては、正職員が16名、パートが2名の合計18名になります。

保育士の配置基準に沿った必要な保育士数としましては13名となっております。

以上です。

○林委員長 「牧野政策推進監兼企画財政課長」

○牧野政策推進監兼企画財政課長 失礼しました。

デジ田交付金の内容でありますけれども、河北町の公式LINE活用の経費が大体270万円ほど、コンビニ交付につきましては2,500万円ほどです。公金収納サービスとして、公金ステーションが560万円ほど、キャッシュレスレジとして350万円ほど、あとGIGAスクールとしておおよそ1,600万円ほどで、全体で5,300万円ほどになっているかと思えます。そのうちの半分が一応交付金ということで、歳入のほうでデジ田交付金ということで2,690万円ほどの交付を受けているところであります。

以上です。

○林委員長 「軽部税務町民課長」

○軽部税務町民課長 先ほどの費用の関係ですけれども、国保で発生する費用負担はそもそもないということでありまして。

○林委員長 委員長から申し上げます。

決算審査特別委員会でありますので、一般質問に類するような発言は避けてくださるようお願いいたします。

「6番木村章一委員」

○木村委員 何か失礼したかな。

デジ田交付金は、大体その交付金で半分は自治体負担が必要だということなわけですね。何か膨大に町の予算が何割も膨らむほど使っている自治体もあるもんですから、そうする

とかなりその自治体の負担もあるということなわけですね。分かりました。

空き家対策費での空き家バンクで、8件とあれして、その中で問合せがあったとか、実際に空き家を利用いただいたというか、販売というんですか、そういうのに至ったなんていうことがあるかどうか知りたいんですけども、いかがでしょうか。

それから、マイナンバーカードについては、申請サポートの費用かかっていますけれども、そういった財源は全部国から来ているという意味の答弁だったのでしょうか。もう1回お聞きします。

児童福祉費のほうは分かりました。

もう一度聞きます。

○林委員長 暫時休憩します。

休憩 午後2時59分

再開 午後3時01分

○林委員長 休憩を解いて再開します。

「日下部くらし応援課長」

○日下部くらし応援課長 大変失礼いたしました。

令和6年度の8件の登録のうち、取引が成立している件数は4件になっております。

○林委員長 「軽部税務町民課長」

○軽部税務町民課長 マイナンバーカードの申請サポート等の財源ですけれども、会計年度任用職員を1名採用して10分の10ということで入っております。

以上です。

○林委員長 「6番木村章一委員」

○木村委員 空き家バンクについてでありますけれども、8件、その4件の取引があったということですが、これは以前からの登録分も含めてのでしょうか、8件の、要するに8分の4で50%という意味なのか、それとも以前からの分も登録になっているので、その中から4件ということなのかどうか。

さらに、なぜ今までそんなに、ここまで空

き家バンク活発にあればなかったんですが、全国版に登録した、問合せをよこす、取引をするというところが町外に広がった成果なのかどうかについてお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。

○林委員長 「日下部くらし応援課長」

○日下部くらし応援課長 この4件の数値は令和6年度に登録していただいたもの8件のうち4件が販売終了しているというようなことになっております。

大幅に増えたというところがございますが、先ほど申し上げたように、全国版のほうにも載せたというのも効果があったのかなと思っております。

あと、ガイドブック、昨年度、利活用編ということで発行させていただきまして、令和6年度に空き家の利活用のリフォームのための補助金なども創設させていただいております。そういったところもある程度効果はあったのかなと思っております。

○林委員長 「6番木村章一委員」

○木村委員 空き家バンク、今後も期待しています。

以上で質疑を終わります。

○林委員長 ここで委員長から申し上げます。

お諮りします。本日はこれをもって延会したいと思います。これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、本日はこれにて延会とします。

明日9月9日は午前9時までにご参集願います。

お疲れさまでした。

午後3時04分 延会

